

# 家庭学習のすすめ



## 家庭学習とは

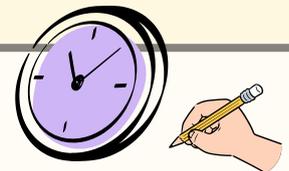
学習準備や学習習慣、自主学習などを含めた「家庭での学習」のことです。

## 家庭学習の3つの側面

- 必ずしなければならない学習 … **基礎学習**  
主に「読む」「書く」「計算する」などの基礎学力を身に付けることがねらいです。  
(例) 漢字ドリルや計算ドリル、音読など  
お子さんの学習の進捗具合を確認していただくためにも、基礎学習ではご家庭での丸付けをお願いしています。  
**1・2年生：保護者** 3・4年：**保護者**または児童自身 5・6年：**児童自身**または保護者
- 苦手なこと、興味や関心があることに自主的に取り組む家庭学習 … **自主学習**  
自分で課題を見付け、自分に足りないところを補ったり、興味や関心があることに取り組むことで探究する力や思考力、表現力などを育むことがねらいです。  
(例) 漢字や計算の反復練習、世界の～～調べ、おいしい○○の作り方、身の回りの植物観察 など
- デジタルの特性を生かし、効率よく学習に取り組む家庭学習 … **デジタル学習**  
基礎・基本の定着及び思考力・判断力・表現力等の育成について、自己採点などのデジタルの特性で効率よく学習を進めることがねらいです。  
(例) ミライシード、寿司打(タイピング)、スクラッチ(プログラミング)など

## めやすの時間

およそ **学年×10分**とされています。(1年生は10分、6年生は60分)  
ただ、あくまで「めやす」なので、さらに多く取り組めるといいです。



## ポイント

- ①家に帰ったら、決まった時刻に学習を始めましょう。
  - ②テレビや音楽を消して、学習に集中しましょう。
  - ③学習する場所を片付けましょう。
- \*保護者の方から見える場所で学習すると効果的です。  
\*学習者用端末の使用に慣れると、学習以外のことに興味をもち、学習以外のことに使用することもあるため、確認をお願いします。



## ～子育て四訓～ 山口県教育者 緒方甫(はじめ)さん提唱による

- (1)乳児はしっかり肌を離すな
- (2)幼児は肌を離せ、手を離すな <1・2年生>
- (3)少年は手を離せ、目を離すな <3年生以上>
- (4)青年は目を離せ、心を離すな

お子さんへの声かけをお願いします。うまくいかない場合は、担任にご相談ください。

